

# 短期留学生報告（2011年10月～2012年9月）

加藤扶久美

## 1 はじめに

富山大学留学生センターでは、「富山大学短期留学生受入れ体制要項」に基づき、学術交流協定校からの短期留学生が学部および大学院で学習・研究が円滑に進められるように支援している。

富山大学に在籍した短期留学生は、2011年度後期（2011年10月～2012年3月）が13人、2012年度前期（2012年4月～9月）が15人であった。表1に所属別短期留学生数を、表2に出身大学別短期留学生数を示した。

表1 所属別短期留学生数

	五福地区				高岡地区	合計
	人文	人発	経済	理工	芸文	
2011年度後期	8	2	2	1	0	13
2012年度前期	7	2	2	1	3	15

\* 人文は人文学部と人文科学研究科，人発は人間発達科学部，経済は経済学部と経済学研究科，理工は理工学教育部，芸文は芸術文化学部を示す。

表2 出身大学別短期留学生数

		2011年度後期	2012年度前期
韓国	国民大学校	5	5
	江原大学校経営大学	1	1
中国	山東大学大学院	1	1
	遼寧大学	1	1
	大連理工大学	1	1
	大連理工大学大学院	1	1
	中南林業科技大学経済学院	1	0
	西南交通大学大学院	0	1
	アモイ大学大学院	1	1
ロシア	ノヴォシビルスク大学	1	0
チェコ	プラハ美術工芸大学	0	3
(合計)		13	15

本稿では、表1、表2に示した短期留学生について、2011年度後期と2012年度前期の日本語プログラム（五福キャンパス）の受講状況について報告する。

## 2 日本語プログラム（五福キャンパス）の受講状況について

### 2.1 総合日本語コース

上級レベルの短期留学生は、総合日本語コースを受講できる。受講者は、2011年度後期が11人、2012年度前期が9人である。

表3に所属別「総合日本語コース」受講者数を示した。「総合日本語コース」の受講者は文系の人文学部、人文科学研究科、人間発達科学部、経済学部 に在籍している。

表3 所属別「総合日本語コース」受講者数

	人 文	人 発	経 済	合 計
2011年度後期	8	2	1	11
2012年度前期	6	2	1	9

\* 人文は人文学部と人文科学研究科，人発は人間発達科学部，経済は経済学部を示す。

表4-1と表4-2に、授業科目別「総合日本語コース」受講者数を示した。

表4-1 授業科目別「総合日本語コース」受講者数

	読解 A2	読解 B2	作文2	聴解2	会話2	漢字2	日本 文化2	文法2	表現 技術2	合計	平均受講 コマ数
2011年度後期 (受講者：11人)	1	3	1	1	3	7	4	3	3	26	2.4

表4-2 授業科目別「総合日本語コース」受講者数

	読解 A1	読解 B1	作文1	聴解1	会話1	漢字1	日本 文化1	文法1	表現 技術1	合計	平均受講 コマ数
2012年度前期 (受講者：9人)	0	0	1	2	3	0	4	4	3	17	1.9

平均受講コマ数は、2011年度後期が2.4コマ、2012年度前期が1.9コマである。受講者も受講コマ数も減少している。

### 2.2 日本語課外補講

初級・中級レベルの短期留学生は日本語課外補講を受講できる。受講者は、2011年度後期が2人、2012年度前期が6人である。

表5に所属別「日本語課外補講」受講者数を示した。2011年度後期は、経済学部1人及び理工学教育部1人の計2人が、初級クラスを受講した。2012年度前期は、経済学部1人が中級クラスを、経済学研究科1人、理工学教育部1人及び芸術文化学部3人の計5人が初級クラスを受講した。

高岡キャンパス芸術文化学部では、2012年度前期に短期留学生が3人在籍し、シャトルバスを週1回利用して、五福キャンパスで週2回開講されている日本語課外補講初級「生活日本語」を1回だけ受講し、自習プリントで欠席分を補った。

表5 所属別「日本語課外補講」受講者数

	経済学部	経済学研究科	理工学教育部	芸術文化学部	合計
2011年度後期	1	0	1	0	2
2012年度前期	1	1	1	3	6

### 2.3 成績評価

上級レベルの短期留学生については、受講した総合日本語コースの科目の成績評価がなされる（「総合日本語コース報告」参照）。学生への成績通知は、日本語教育部門短期留学生担当の加藤扶久美が「学業成績通知書」を作成し、学期末に個別に渡している。人文学部については、学部長名で、「富山大学人文学部短期（1年）留学生プログラム（受け入れ）」に基づく「履修証明書」が発行されている。

初級・中級レベルの短期留学生については、学部長からの依頼に応じて、受講した日本語課外補講の「受講記録」を提供している。

### 3 おわりに

学術交流協定に基づく短期留学生に対する留学生センターの支援は、日本語教育とスタディ・トリップである。日本語教育については、日本語課外補講を受講する初級・中級レベルの学生および総合日本語コースを受講する上級レベルの学生に対して、学部等との連携をとりながら支援体制をさらに充実させていきたい。

スタディ・トリップについては、全学向け「見学」として案内し、2011年11月11日（金）に瑞龍寺・瑞泉寺・井波彫刻総合会館へ、2012年6月1日（金）に富山市民俗民芸村へ出かけた。「留学生指導部門報告」で詳細が述べられるので、ここでは省略する。